

リハビリテーション部門・言語療法士の職員教育

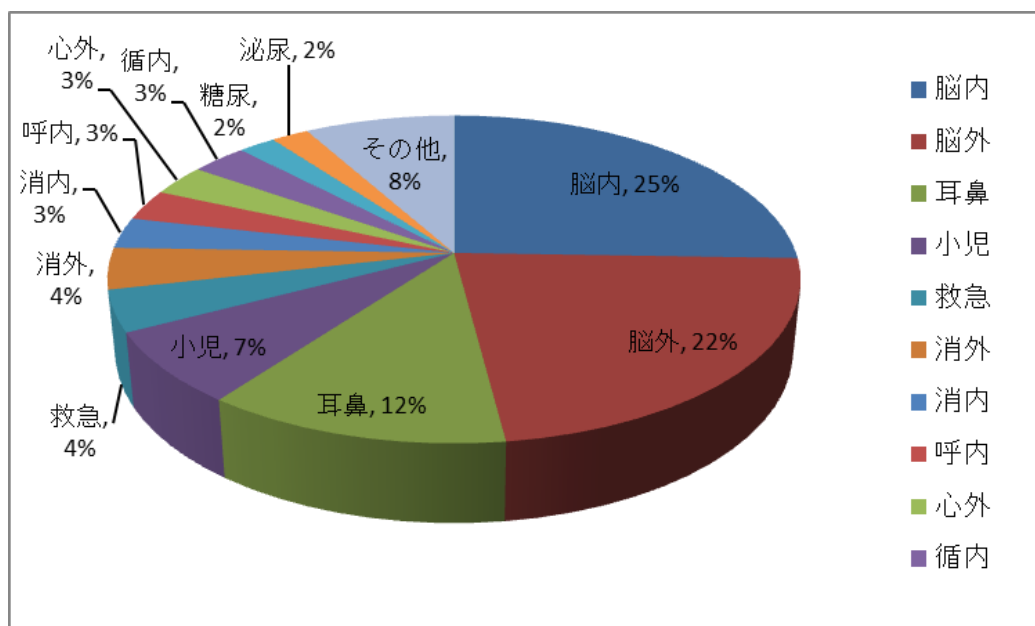
募集のお知らせ

当院の言語聴覚士は現在、常勤職員 2 名、契約職員 3 名の計 5 名で業務を行っております。入院リハビリテーション、外来リハビリテーションや各種検査を実施しており、対象疾患は、失語症、構音障害、嚥下障害、音声障害、発達障害、言語発達遅滞、人工内耳術後等多岐にわたっています。また、大学病院であるため先進的な医療も行われており、その中でも覚醒下手術や VNS、人工内耳、EAS（残存聴力活用型人工内耳）などにも関わっています。

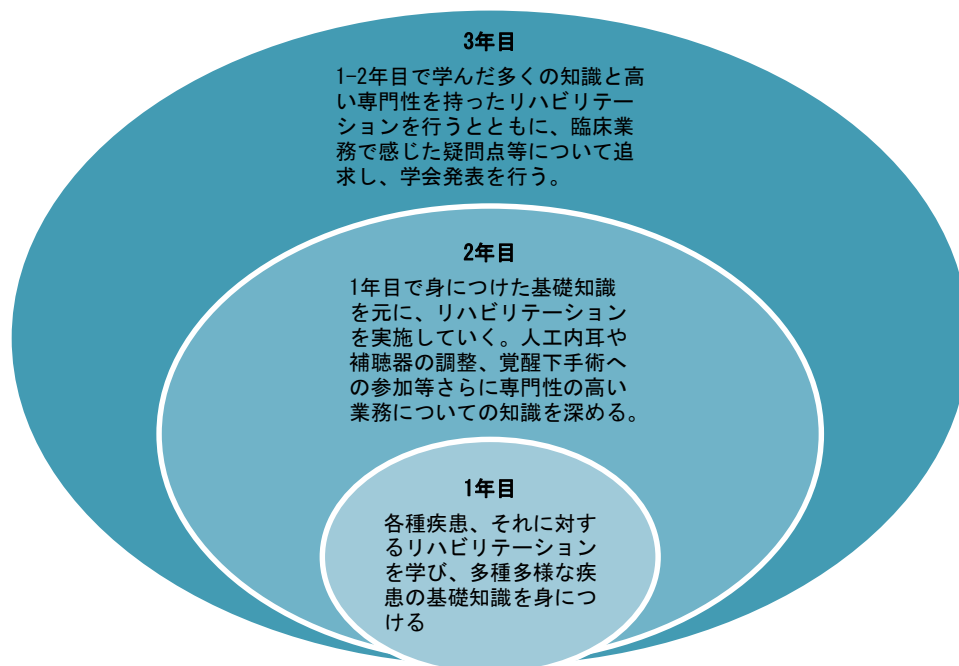
やる気や興味があれば、その分野に携わり様々なことが実践できる職場です。見学も随時受け付けておりますので、是非お越し下さい。

対象疾患と臨床指導

言語聴覚士のこれまでの対象疾患の下グラフの通りです。脳血管疾患だけでなく、神経難病、嚥下障害（成人、小児）、発達障害、難聴（人工内耳、補聴器）等に対してもリハビリを行っています。その他に、てんかんセンターや聴覚・人工聴覚機器センターでの業務に従事したり、覚醒下手術への参加もしています。



教育プログラム



新人教育プログラムは上図のようになっています。他施設での臨床経験がおありの方は、1年目から専門性の高い業務へ従事していただくこともあります。あらかじめ担当者と相談を行います。

新採用者の声

私は新卒で就職して5年目になります。

広島大学病院では、患者さまは0歳の乳児から90代のご高齢の方までと様々な年代の方がおられ、仕事の内容は多岐にわたります。初めての経験も多く、最初は全ての業務を行えるようになるのかとても不安に思いました。しかし、先輩方の丁寧な指導もあり、ひとつずつ疑問を解決していくことで、今では不安なく業務を行えるようになりました。図書館などの自分で勉強するための施設も充実しており、幅広い知識を身に付けることができます。

耳鼻咽喉科・頭頸部外科での人工内耳の術中検査やプログラム調整、脳神経外科の覚醒下手術やWADAテストでの言語タスクの補助など、大学病院ならではの経験ができることも魅力の一つです。ぜひ私達と一緒に楽しく元気に働きましょう。

言語聴覚士 上浅真莉子